

Photo News

東京都小池知事と面会し、懇談しました



3月4日(月)、都庁特別応接室において、小池百合子東京都知事と面会し懇談しました。東京都生協連から会長理事、副会長理事、専務理事と、会員生協からコープみらい、パルシステム東京、東都生協、生活クラブ生協、自然派くらぶ生協の理事長・副理事長が参加しました。参加した5生協からの活動報告を受けて、小池知事から生協の諸活動に対する理解や期待とともに災害対策や子育て支援、カスタマーハラスメント防止対策など、今後も幅広く生協と連携していきたい旨のコメントをいただき、限られた時間でしたが、和やかな雰囲気の中で今後につながる有意義な懇談となりました。



4年ぶりに顔を合わせて

「2023年度まちづくり・組合員活動交流のつどい」を開催



「2023年度まちづくり・組合員活動交流のつどい」を3月11日(月)に開催し、14生協97名が参加しました。毎年、地域生協、医療生協の役職員・組合員で構成する実行委員会により企画・運営しています。

4年目となる今回は、東京都生協連会館を会場に、前半は慶應義塾大学大学院教授堀田聰子さんによる学習講演「安心して認知症になれるまちを目指して」、後半は各生協のおすすめ企画をみんなで体験し、生協の枠をこえて一緒に顔を合わせて楽しく交流するにぎやかなつどいとなりました。



会員生協の皆さんから
情報をお寄せいただきました

会員生協の取り組み

コープみらい・パルシステム東京・ 東京ふれあい医療生協

戻って来たヨ、生協まつり 地域生協のセンターまつりが各地で開かれています！



○コープみらい

「にこにこ2ブロックセンターまつりin町屋」

2月3日(土)、東京ふれあい医療生協に協力をいただき、町屋センター開設以来で初めての町屋センターまつりを開催し、72組150人にご来場いただきました。

東京ふれあい医療生協の「いきいき健康ブース」では親子連れやご高齢の方々が肌年齢・健康チェックなどを笑顔で楽しんでいました。また、コープデリブースでは「ほべたん塗り絵」「野菜・コモパンコーナー」などの組合員交流や販売がおこなわれました。
(コープみらいより)

○パルシステム東京 八王子センターまつり

今年度、4か所の配送センターでセンターまつりを開催しました。2月17日(土)に開催した「八王子センターまつり」では約300人が来場されました。8つのメーカーによる試食販売、職員によるダンスショー、リユースびん当てゲーム等の環境コーナー、お子さん向けトラック試乗体験と電気トラックの展示、能登半島地震緊急支援募金、スタンプラリー等、パルシステムの商品や取り組みを地域に発信する企画となりました。

(パルシステム東京より)



東都生協

生産者と消費者をつなぎました ～東都生協50周年企画～ 東都生協感謝祭 Tohto Week



2月27日(火)～3月2日(土)、50周年感謝祭 Tohto Week第2弾「未来へつなぐ～これからの未来、食と農業、くらしを考える」が開催されました。会場となった新宿南口のJA東京アグリパークでは、産直・国産商品の販売や試飲・試食コーナーも設置され、生産者さんと組合員さんの交流の場となっていました。27日に開催された「新時代ぶっちゃけトーク」では、新しい時代を担う生産者さんたちが、自分たちの考えるこれからの農業についてお話しされました。



自然派くらぶ生協

絵本でつなぐ、地域、農業、生協 「おーきな おーきなサンドイッチ」

食育をテーマにした取り組みとして多摩地域の食材をモチーフにした絵本「おーきな おーきなサンドイッチ」を製作しました。個性あふれる挿絵は、障害者の通所施設を運営している地元のNPO法人が担当しています。描き方や絵のタッチも



八王子市へ絵本を贈呈する菊地理事長(左)

異なる二人のアーティストの挿絵を楽しみながら、生産者や食文化について子どもたちに読み聞かせることができます。この絵本は協賛いただいた組合員をはじめ、八王子市の約200カ所の保育園・幼稚園に寄贈しました。

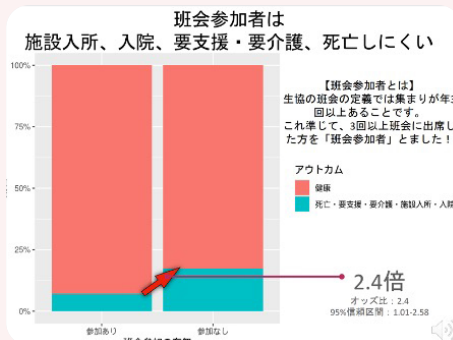


挿絵を担当されたNPO法人 結の会のお二人

東京保健生協

楽しい班活動で健康に 第8回日本HPHカンファレンス2023優秀賞受賞

日本医療福祉生協連では2018年と2022年に「医療福祉生協の班会に参加する組合員の健康度調査」を実施しました。同じ人を対象とした4年間の追跡調査で班会に参加している人は、主観的健康感が良好で要介護状態や死亡に至る割合が少なく健康づくりに役立っているという結果は、班活動に確信が持てるものとなりました。この調査のプロジェクトリーダーを東京保健生協大泉生協病院院長の齋藤文洋先生がつとめました。報告の詳細は下記アドレスよりご覧ください。



大泉生協病院 齋藤文洋院長

https://www.youtube.com/watch?v=sCAVqqHT_wg

東洋大学生協

先輩から後輩へ 入学準備サポートセンター&教材購入会



東洋大学生協では、3月初旬から入学準備サポートセンター&教材購入会が企画されました。サポートメンバーの学生の皆さんが大学生活ってどんな感じ？準備するものは？入学までにしておくことは？など新入生からの質問に丁寧に答えながら、大学生協が皆さんにどんなお手伝いができるのかを説明していました。大学生活に欠かせないPCの説明や卒業後のことも考えた社会人基礎講座も生協で行うなど、新入生だけでなく一緒に参加されていた保護者の方の不安も解消される企画でした。

リニューアルした東京都生協連のホームページを御覧ください

東京都生協連では社会と生協をつなぐ役割を果たすために、この会報と同様にホームページもリニューアルしました。

東京都生協連の諸活動と共に、会員生協、友誼団体の取組みを紹介していきます。

会員の皆さんには会員専用ページを通じて理事会報告など東京都生協連の情報をお知らせ致します。



楽しみながら学びました

高齢者の消費者被害防止講座

「笑っておぼえる なくそう! 悪質商法被害」



2月5日(月)、東京都との協働事業として東京都生協連会館とオンラインで開催し、スクリーン上映会場を含めて104人が参加しました。

東京都消費者啓発員の鈴木伸子さんの講演「知っておきたい最新情報」、漫才コンビいち・もく・さんの漫才「はつきり言おう『いらぬものはいらぬ!』」、三遊亭仁馬さんの落語「お試しの罠! 恐怖あなたの知らない請求書」の3部構成で、笑いながら楽しく学ぶ機会になりました。

ネットワークを活かして

コープ商品を

フードバンク団体にお届けしました



日本生協連より、CO・OPスキンケア用品や洗濯柔軟剤など11種類、合計1,173ケースの寄贈があり、すべての支援品を東京都生協連と日頃よりつながりのあるフードバンクなど13団体へお渡ししました。

総数で13,782点の寄贈品を、それぞれの団体を通してフードパントリーや子ども食堂の皆さんに活用していただきました。

“おでかけ”まちづくり講座20講を開催

「多世代のつながりづくりと居場所づくり～『野川のえんがわ こまち』から学ぶ～」



1月24日(水)、狛江市にある空き家を地域に開いた多世代交流の居場所「野川のえんがわ こまち」を見学し、お話を聞くまちづくり講座を開催し、12人が参加しました。

見学後は、パルシステム東京狛江センター会議室に移動して、代表の梶川朋さんにお話を伺いました。市民活動助成基金でつながりのあるパルシステム東京の北川勝之さん、狛江センター活動長の渡辺茂雄さんからも、生協との関係や連携についてお話をうかがうことができました。

漁業関係者からお話を伺いました

ふくしまの今を知る学習会

～水産業の食の安全・安心の取り組み～



1月22日(月)に開催した学習会で福島で水産業に関わる八多宣行さんと川瀬洋さんお二人の講師より、福島県の漁業の今、そしてモニタリングを続け安全な魚を消費者に届ける努力、今後さらに活力ある福島県となっていく取り組みについてお話をうかがうことができました。

参加申込をされた方の事前質問にも丁寧に答えてくださり、福島の多くの魅力や、ALPS処理水排出後の状況を知り、福島の方々と思いを共有する学習会となりました。

